



なんと！コロナ感染が疑われる社員に 管理者が市中のPCR検査受診を指示 症状が出た場合は適切な指示を 行うよう会社に申し入れ

新横浜駅のJR東海労組合員が、出勤日にコロナ感染が疑われる症状が出たために行政（発熱相談センター）に連絡をしたが、医療逼迫の影響及び日曜日であったため、当日診察可能な病院が見つからなかった。

その旨管理者に連絡したところ、「なんとか病院に行ってくれ」「無理なら市中で無料PCR検査をやってるから行ってくれ」という指示がされた。医療が逼迫している現状下において、このような指示は組合員に対する気配りを欠くものである。なおかつ、組合員に一方的に対応を押し付けるものであり、会社として責任ある指示とは到底言えない。ましてや、「無料PCR検査・抗原検査」は、無症状の人を対象に行なっているものであり、有症状の人を受けに行かせることは、社会的にも認められるものではない。

地本はこの問題について12日ただちに会社に申し入れを行った。

申し入れの趣旨

- 新型コロナ感染が疑われる症状があらわれ早急な診察が不可能な場合は、就業制限を指示すること。
- 行政の「無料PCR検査・抗原検査」は、無症状の人が対象であり、症状があるのに「それに行け」という指示は、無症状を装い行政を欺き検査を受けさせることになる。このような行為は社会通念上問題であり認められない。今後このような指示は行わないこと。
- 「すぐ病院に行け」「無料PCRを受けろ」という指示は、全ての対応を社員自身に押しつける無責任な指示であり認められない。今後、社員からコロナ感染症状の連絡があった場合、会社から検査可能な病院を紹介すること。それが不可能な場合は、会社が抗原検査キットを全社員に配布し、症状が出た場合は就業制限など適切かつ柔軟な対応を行うこと。